

(12) 教育施設

1) 幼稚園

① 概要

本市には市立幼稚園が8園あり、そのうちの7園は、3歳児以上を対象に保育所機能を兼ね備えた認定こども園となっています。

幼稚園は、就学前の子どもを対象に、心身の発達の助長や保育等を目的としており、遊びや生活を通して、自発的な活動や友達とのかかわりを十分に楽しみ、生きる力の基礎を育む施設です。

鉄骨造（S造）の平屋建が多くを占めています。また、6園が築50年以上となっています。なお、市内には私立幼稚園が10園あります。

表 3-2-20 幼稚園の概要

No.	施設名	所在地	複合区分	運営形態	延床面積(m ²)	主要な建物の情報（R7年末現在）			
						主な建築年	経過年数	構造・階数	耐震性
幼稚園									
1	認定こども園茨木幼稚園	片桐町6番25号	単独	直営	899	S49	51	RC・2	○
2	認定こども園福井幼稚園	東福井二丁目2番32号	単独	直営	757	S47	53	S・1	○
3	認定こども園西幼稚園	上穂積二丁目12番13号	単独	直営	1,061	S49	51	RC・2	○
4	認定こども園太田幼稚園	太田二丁目9番23号	単独	直営	827	S47	53	W・1	○
5	認定こども園水尾幼稚園	真砂二丁目3番2号	単独	直営	1,017	S48	52	S・1	○
6	玉島幼稚園（R7年度末廃園）	平田二丁目36番4号	単独	直営	819	S49	51	S・1	○
7	認定こども園沢池幼稚園	南春日丘三丁目2番3号	単独	直営	1,030	H3	34	RC・2	○
8	東雲幼稚園（R5年度末廃園）※	学園南町17番33号	単独	直営	847	S51	49	S・1	○
9	認定こども園庄栄幼稚園	総持寺一丁目1番17号	単独	直営	1,095	S55	45	S・1	○

※令和7年度（2025年度）末現在、子ども・若者自立支援センターとして利用中



認定こども園西幼稚園



認定こども園沢池幼稚園

② 建物の状況

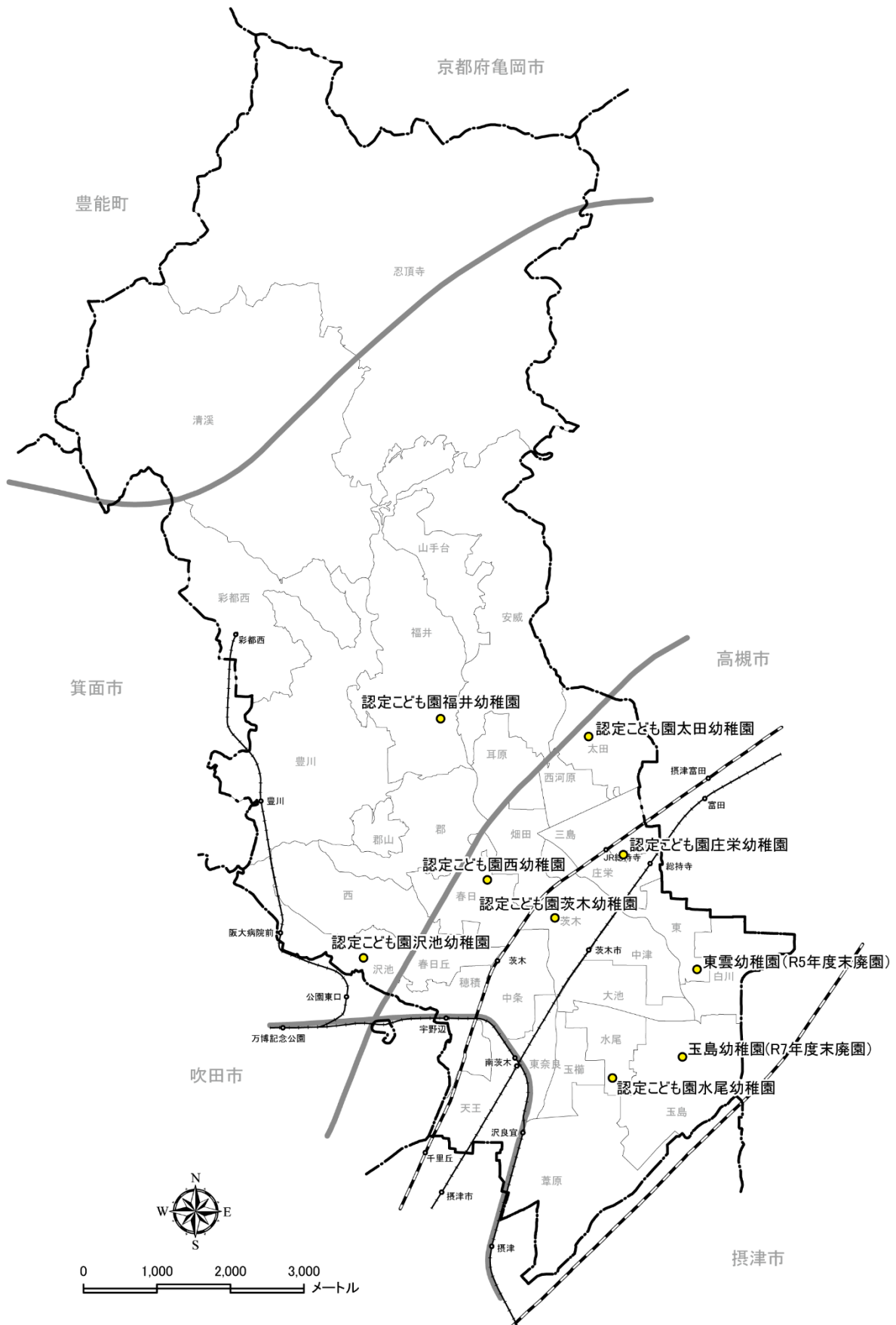


図 3-2-120 対象施設位置図（幼稚園）

③ 利用の状況

市立幼稚園の園児数の推移をみると、平成 21 年度（2009 年度）の 1,234 人をピークに減少傾向にあり、令和 6 年度（2024 年度）には 682 人となっています。

また、私立幼稚園の園児数についても、近年、減少傾向にあります。

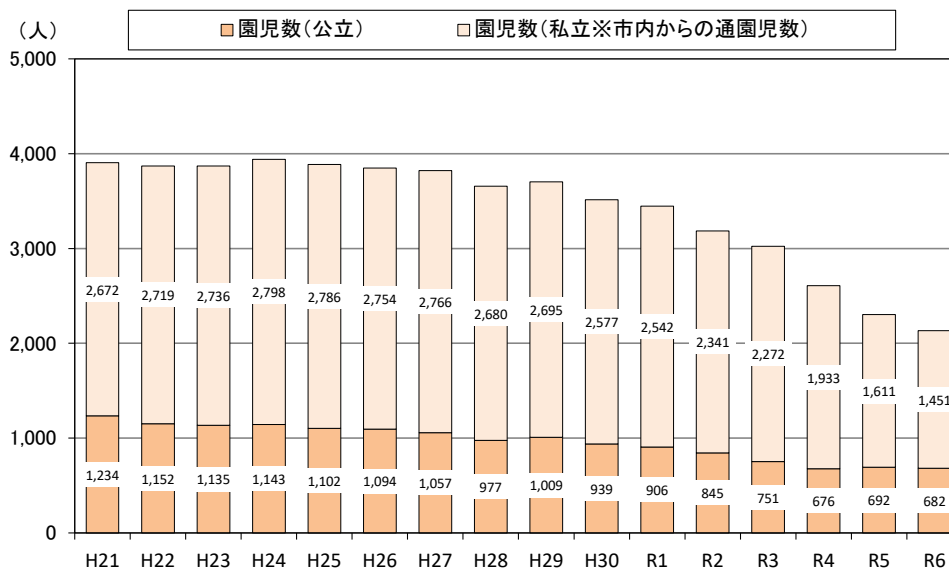


図 3-2-121 幼稚園の園児数等の推移（各年 5 月 1 日現在）

令和 6 年（2024 年）5 月 1 日現在の施設別の園児数をみると、100 人を超える園が 2 園、60～100 人の園が 5 園あります。玉島幼稚園は令和 7 年度（2025 年度）末に廃園を予定しているため、17 人となっています。

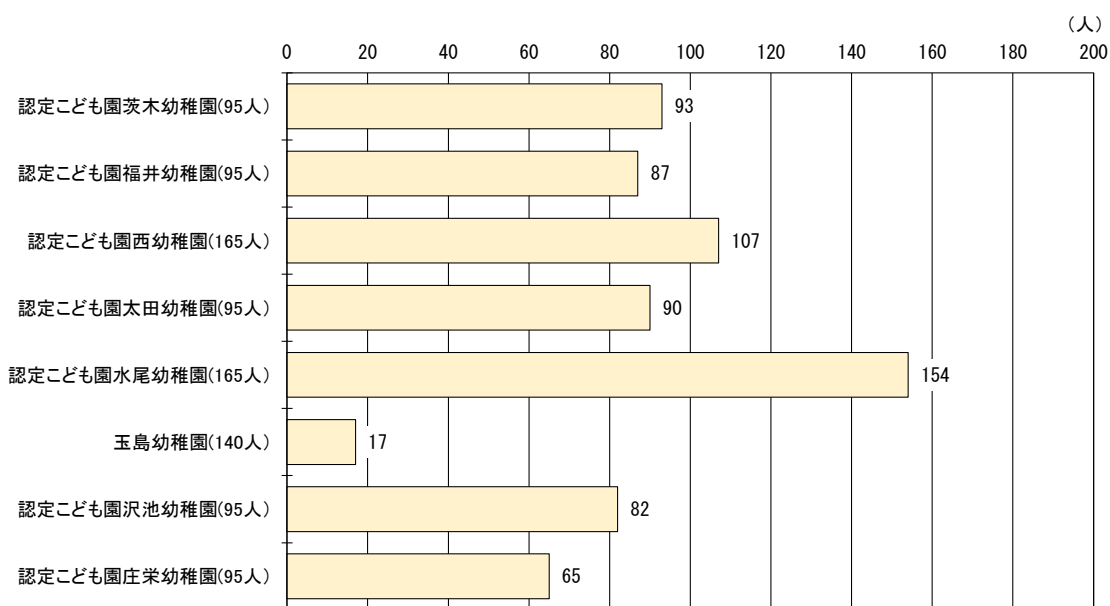


図 3-2-122 施設別の園児数（令和 6 年（2024 年）5 月 1 日現在）

令和6年度（2024年度）の施設別の園児数について、定員に対する在園児の割合をみると、認定こども園茨木幼稚園で約98%、認定こども園太田幼稚園で約95%などとなっています。玉島幼稚園は令和7年度（2025年度）末に廃園を予定しているため、約12%となっています。

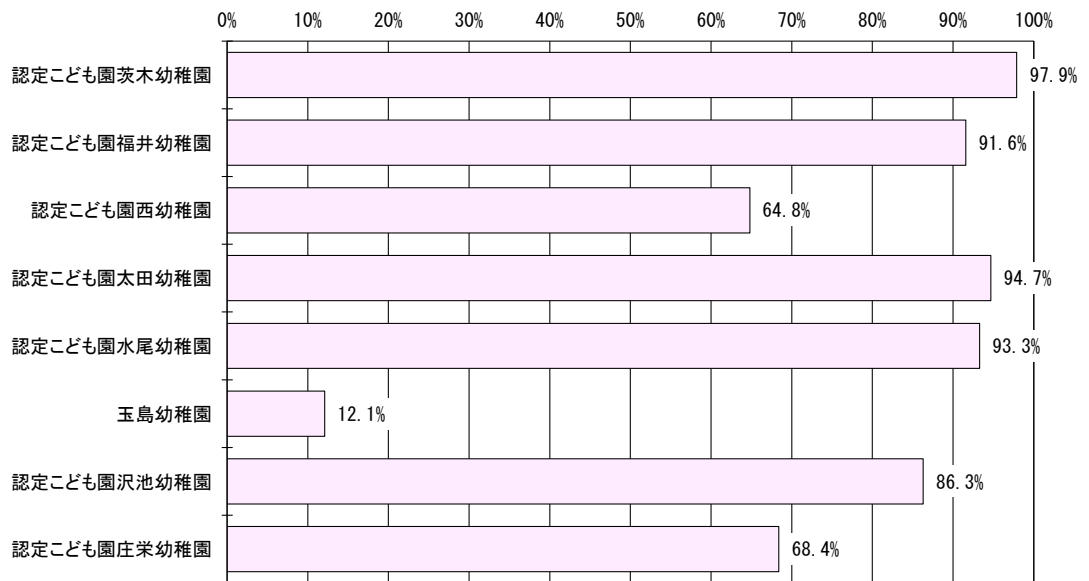


図 3-2-123 定員に対する在園児の割合（令和6年（2024年）5月1日現在）

④ 施設に関する総コストの状況

令和6年度（2024年度）の施設に関する総コストをみると、いずれの園でも人件費の占める割合が大部分を占めています。

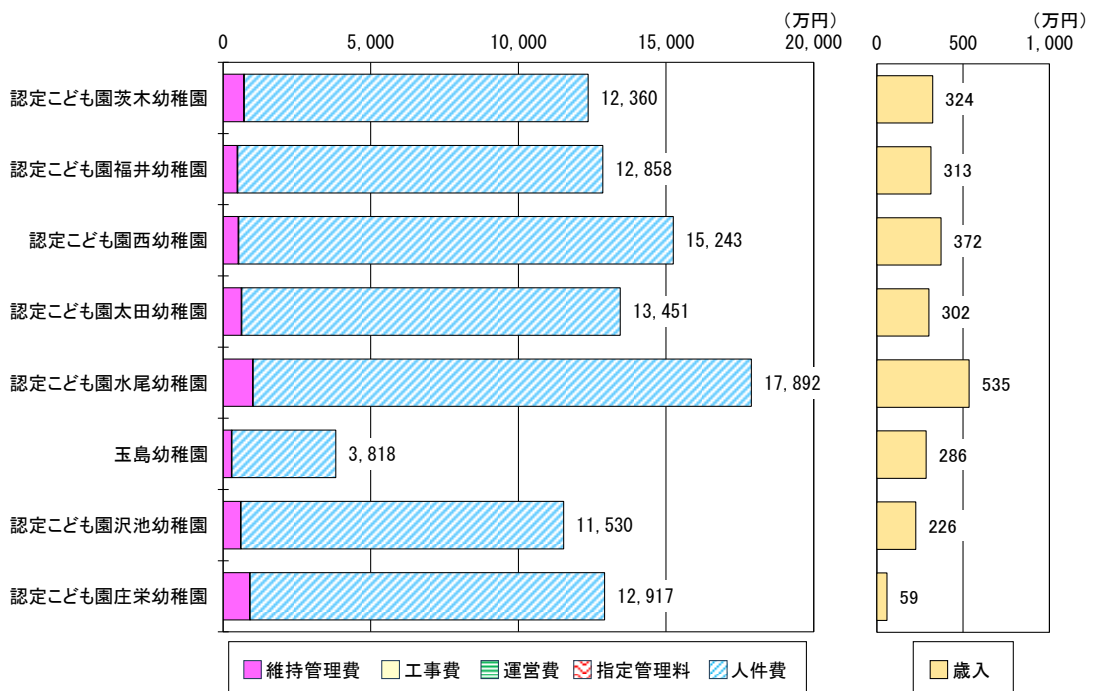


図 3-2-124 施設に関する費用と内訳（令和6年度（2024年度））

⑤ 単位あたりの市負担コストの状況

単位あたりの市負担コスト（工事費に係る歳入歳出を除く）について、延床面積1㎡あたりで比較すると、認定こども園水尾幼稚園で約17万1千円と最も高くなっています。

一方、園児1人あたりで比較すると、廃園を予定している玉島幼稚園を除き、認定こども園庄栄幼稚園が約198万円と最も高く、認定こども園水尾幼稚園で約113万円と最も低くなっています。

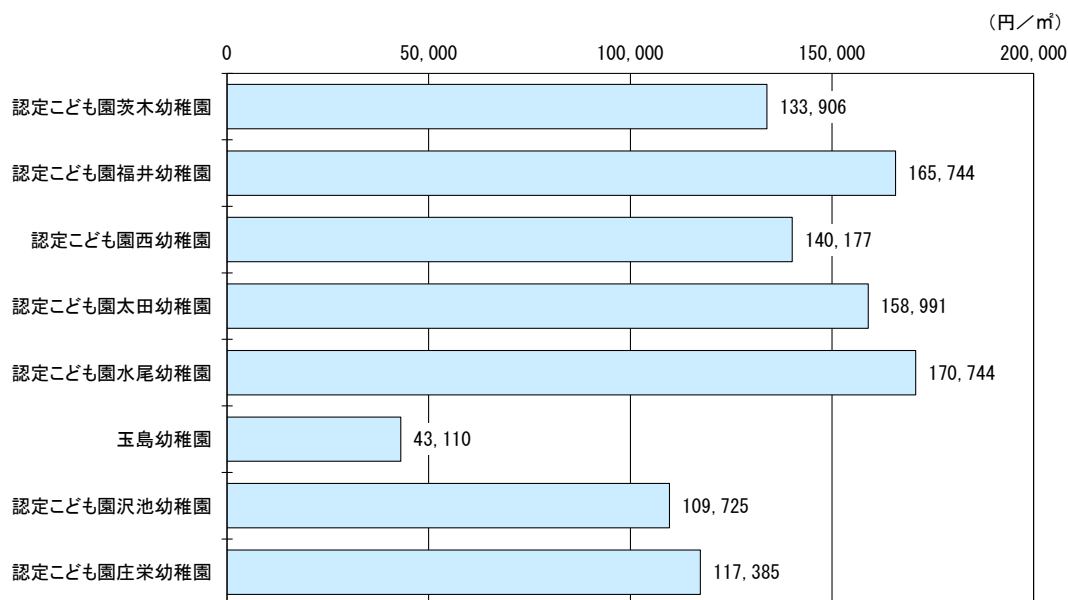


図 3-2-125 延床面積1㎡あたりの市負担コスト（令和6年度（2024年度））

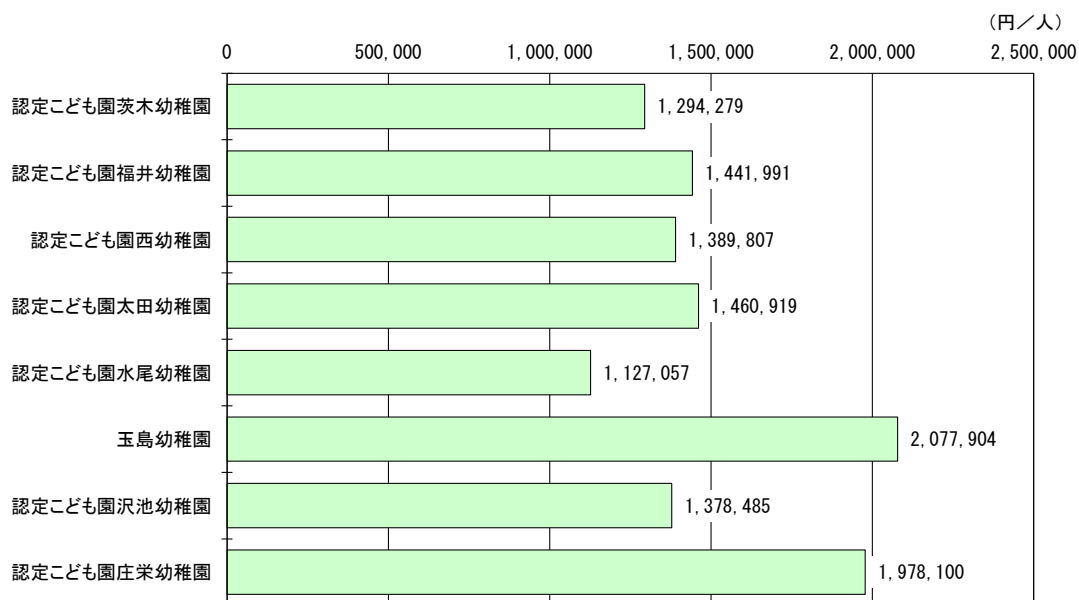


図 3-2-126 園児1人あたりの市負担コスト（令和6年度（2024年度））

⑥ 単位あたりの利用状況

延床面積百㎡あたりの園児数をみると、認定こども園水尾幼稚園の約 15 人を含め、5 つの園で 10 人以上となっています。

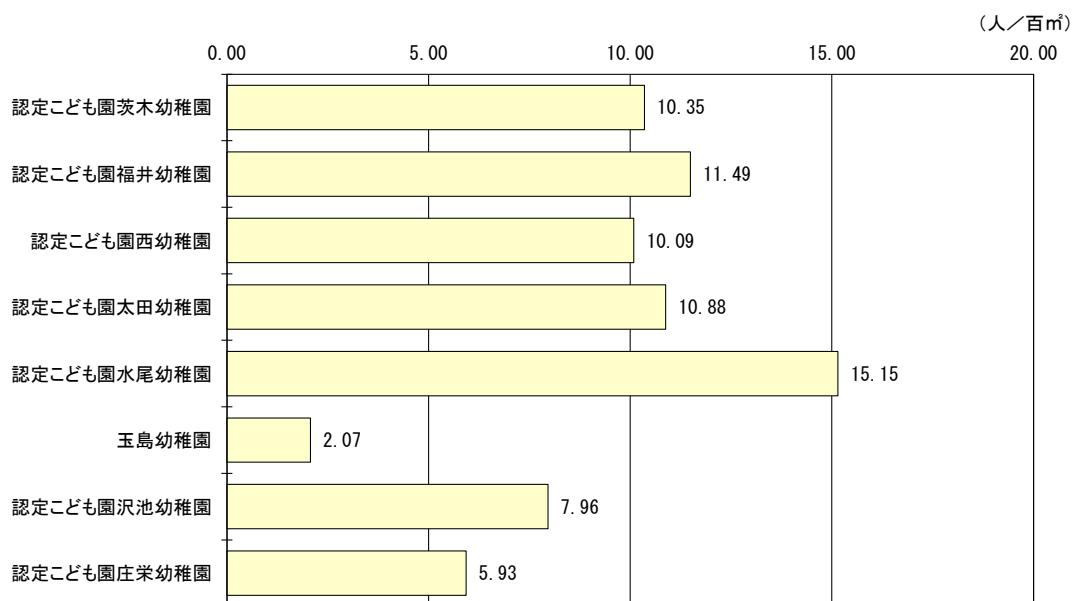


図 3-2-127 延床面積百㎡あたりの在園児数（令和 6 年（2024 年）年 5 月 1 日現在）

2) 学校

① 概要

本市には市立小学校が 32 校、市立中学校が 14 校あります。

小中学校は、子どもたちの心身の発達に応じて行われる義務教育を支える教育機能に加え、大規模災害時における避難所としての機能やコミュニティの活動拠点としての機能を有しています。また、屋内運動場（体育館）や運動場等は、学校活動で使用していない時間帯において、地域の社会教育関係団体等にも使用されています。

平成 16 年（2004 年）以降に開校した彩都西小学校、彩都西中学校以外の学校では、主要な校舎棟が築 40 年以上経過している学校が多く、中には 60 年以上経過している学校もあり、老朽化が進行していますが、全ての学校で主たる建物の耐震改修が完了しています。

なお、市内にはその他に私立中学校が 3 校あります。

表 3-2-21 学校の概要（小学校）

No.	施設名	所在地	複合区分	運営形態	延床面積 (㎡)	主要な建物の情報（R7年末現在）			
						主な建築年	経過年数	構造・階数	耐震性
小学校									
1	茨木小学校	片桐町 8 番 40 号	複合	直営	7,622	S33	67	RC・3	○
2	春日小学校	上穂東町 5 番 18 号	単独	直営	7,427	S47	53	RC・3	○
3	春日丘小学校	中穂積三丁目 3 番 43 号	複合	直営	6,930	S48	52	RC・3	○
4	三島小学校	三島町 3 番 13 号	複合	直営	8,229	S43	57	RC・3	○
5	中条小学校	新中条町 7 番 12 号	単独	直営	7,816	S49	51	RC・3	○
6	玉櫛小学校	水尾三丁目 1 番 51 号	単独	直営	7,109	H5	32	RC・3	○
7	安威小学校	安威二丁目 21 番 23 号	単独	直営	5,010	S45	55	RC・4	○
8	玉島小学校	玉島二丁目 11 番 23 号	単独	直営	7,222	S49	51	RC・3	○
9	福井小学校	東福井二丁目 4 番 20 号	単独	直営	5,195	S44	56	RC・3	○
10	清溪小学校	大字泉原 857 番地	単独	直営	3,769	S49	51	RC・3	○
11	忍頂寺小学校	大字忍頂寺 31 番地の 2	単独	直営	3,672	S49	51	RC・3	○
12	大池小学校	大池一丁目 5 番 8 号	複合	直営	6,835	S40	60	RC・3	○
13	豊川小学校	宿久庄五丁目 14 番 5 号	複合	直営	6,739	S47	53	RC・4	○
14	中津小学校	中津町 10 番 15 号	複合	直営	7,223	S44	56	RC・4	○
15	東小学校	鮎川二丁目 5 番 23 号	複合	直営	7,920	S45	55	RC・3	○
16	水尾小学校	水尾四丁目 7 番 16 号	単独	直営	7,596	S47	53	RC・3	○
17	郡山小学校	新郡山二丁目 30 番 18 号	複合	直営	6,993	S47	53	RC・3	○
18	太田小学校	花園一丁目 21 番 26 号	複合	直営	9,004	S48	52	RC・3	○
19	天王小学校	天王二丁目 13 番 57 号	単独	直営	9,245	S48	52	RC・3	○
20	葦原小学校	新和町 13 番 50 号	複合	直営	8,404	S49	51	RC・3	○
21	郡小学校	郡五丁目 26 番 23 号	単独	直営	6,422	S50	50	RC・3	○
22	庄栄小学校	庄二丁目 26 番 5 号	単独	直営	6,686	S50	50	RC・3	○
23	沢池小学校	南春日丘三丁目 11 番 6 号	単独	直営	7,634	S51	49	RC・3	○
24	畑田小学校	畑田町 3 番 31 号	単独	直営	6,117	S53	47	RC・3	○
25	山手台小学校	山手台四丁目 9 番 4 号	複合	直営	8,899	S53	47	RC・3	○
26	耳原小学校	耳原二丁目 20 番 55 号	複合	直営	9,588	S54	46	RC・4	○
27	穂積小学校	下穂積二丁目 6 番 62 号	複合	直営	6,901	S56	44	RC・3	○
28	白川小学校	白川一丁目 4 番 1 号	複合	直営	7,805	S56	44	RC・3	○
29	東奈良小学校	東奈良二丁目 5 番 36 号	単独	直営	7,640	S57	43	RC・4	○
30	西小学校	北春日丘三丁目 12 番 23 号	単独	直営	6,483	S59	41	RC・3	○
31	西河原小学校	西河原北町 7 番 33 号	複合	直営	6,622	S59	41	RC・3	○
32	彩都西小学校	彩都あさぎ五丁目 8 番 1 号	単独	直営	10,757	H16	21	RC・3	○

表 3-2-22 学校の概要（中学校）

No.	施設名	所在地	複合 区分	運営 形態	延床面積 (㎡)	主要な建物の情報（R7年末現在）			
						主な 建築年	経過 年数	構造・ 階数	耐震性
中学校									
1	養精中学校	駅前四丁目7番60号	単独	直営	8,610	S48	52	RC・3	○
2	西中学校	見付山二丁目5番4号	単独	直営	10,150	S46	54	RC・4	○
3	東中学校	末広町7番4号	単独	直営	8,380	S45	55	RC・4	○
4	豊川中学校	藤の里一丁目16番8号	単独	直営	8,830	S46	54	RC・3	○
5	南中学校	若園町6番41号	単独	直営	8,349	S48	52	RC・3	○
6	三島中学校	西河原一丁目17番10号	単独	直営	9,056	S47	53	RC・4	○
7	北中学校	南安威三丁目10番3号	単独	直営	7,967	S49	51	RC・4	○
8	東雲中学校	学園南町21番7号	単独	直営	9,192	S49	51	RC・4	○
9	天王中学校	沢良宜西三丁目8番5号	単独	直営	8,964	S52	48	RC・4	○
10	西陵中学校	南春日丘一丁目19番6号	単独	直営	9,293	S55	45	RC・4	○
11	平田中学校	平田一丁目8番20号	単独	直営	7,885	S56	44	RC・4	○
12	北陵中学校	山手台一丁目23番10号	単独	直営	7,551	S58	42	RC・4	○
13	太田中学校	花園一丁目6番10号	単独	直営	8,013	S60	40	RC・4	○
14	彩都西中学校	彩都あさぎ四丁目6番7号	単独	直営	9,502	H20	17	RC・4	○



茨木小学校



彩都西中学校

② 施設位置図

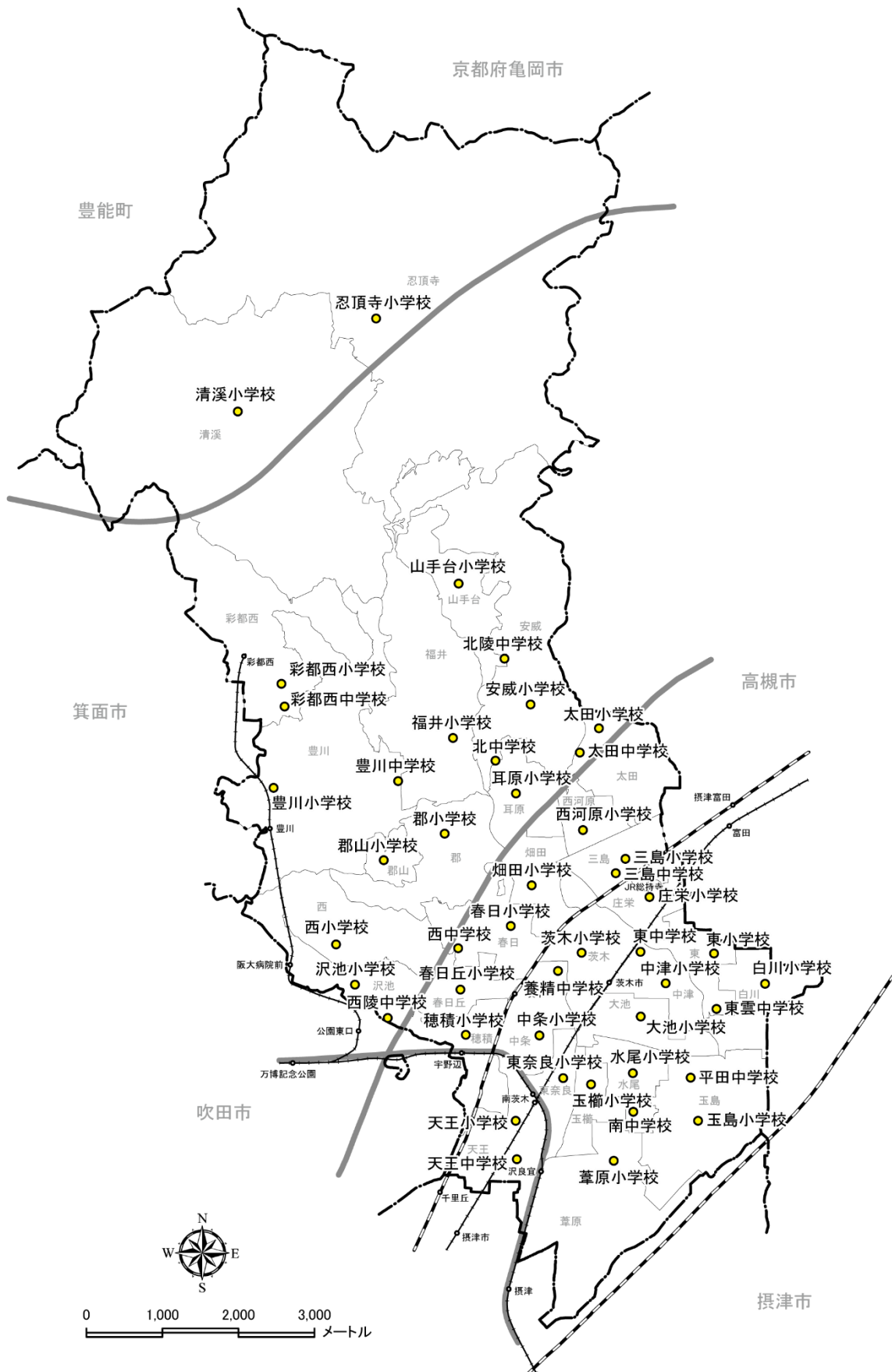


図 3-2-128 対象施設位置図 (学校)

③ 利用の状況

小学校の児童数は平成 23 年度（2011 年度）をピークに横ばいとなっていました。令和元年度（2019 年度）以降は微減しつつあります。中学校の生徒数は平成 25 年度（2013 年度）をピークに横ばいとなっています。

令和 6 年度（2024 年度）の小学校の児童数は 15,538 人、中学校の生徒数は 7,577 人となっています。

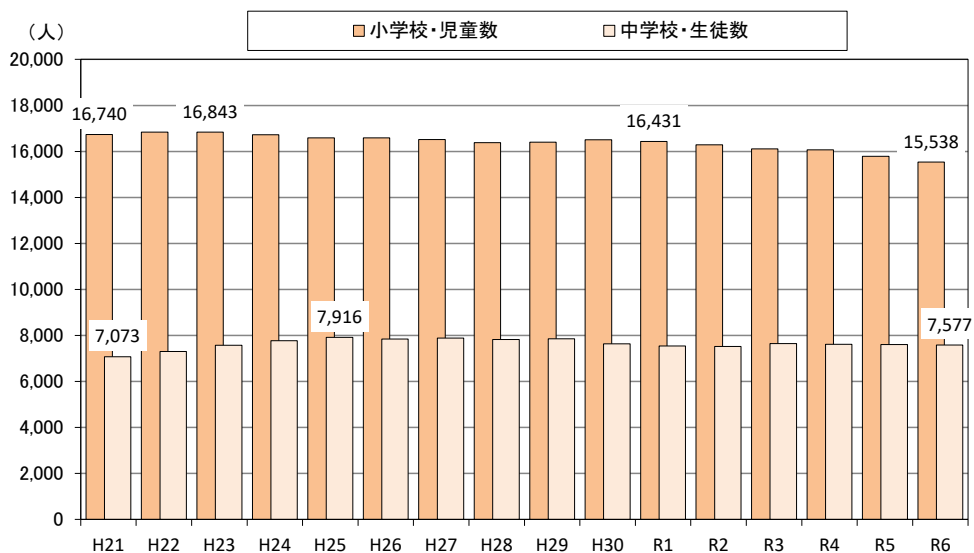


図 3-2-129 児童・生徒数の推移

令和6年（2024年）5月1日現在の児童・生徒数の規模別にみると、小学校では中条小学校の945人を筆頭に児童600人以上の学校が10校に対し、100人未満の学校が2校、また、中学校においても西中学校の907人を筆頭に生徒600人以上の学校が5校に対し、300人未満の学校が1校となっており、地域や校区により学校の規模に大きな偏りが見られます。

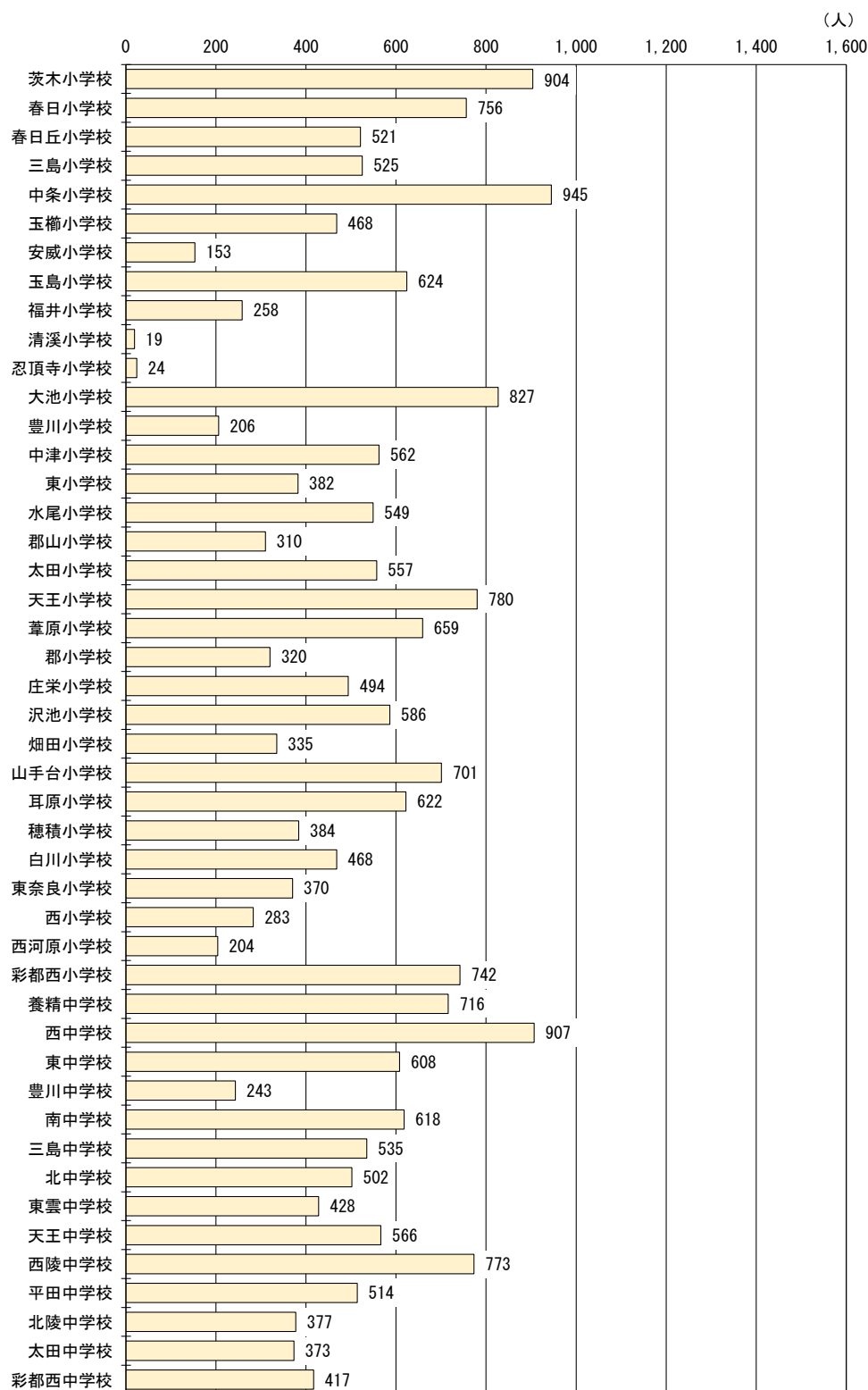


図 3-2-130 学校別の児童・生徒数（令和6年（2024年）5月1日現在）

④ 施設に関する総コストの状況

令和6年度（2024年度）の施設に関する総コストをみると、耳原小学校、西中学校、平田中学校で高くなっています。

令和4年度（2022年度）から令和6年度（2024年度）にかけて、市内のすべての小・中学校の屋内運動場に空調設備を設置する工事を行いました。

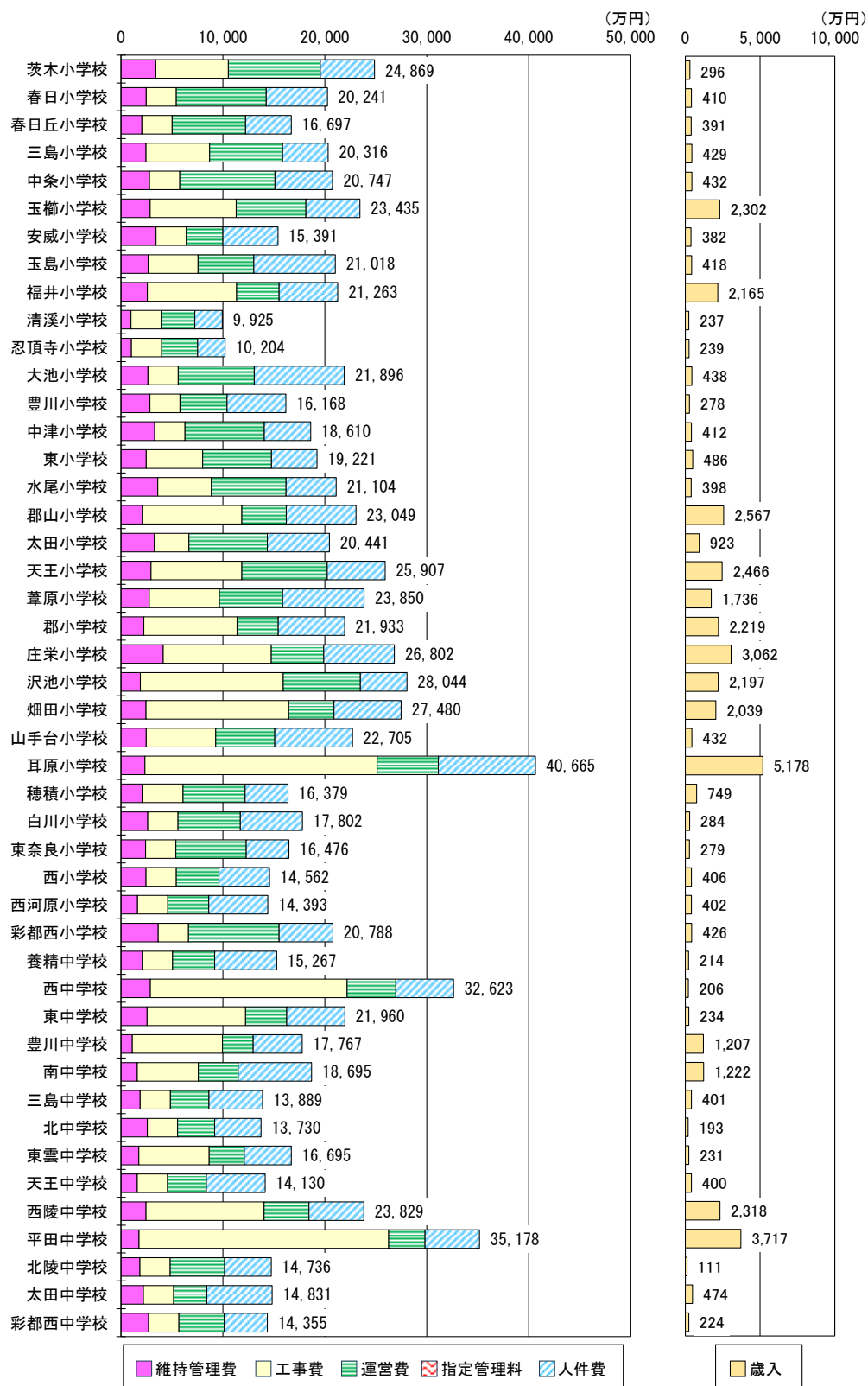


図 3-2-131 施設に関する費用と内訳（令和6年度（2024年度））

⑤ 単位あたりの市負担コストの状況

単位あたりの市負担コスト（工事費に係る歳入歳出を除く）について、延床面積1㎡あたりで比較すると、中学校よりも小学校のほうが高い傾向にあります。

小学校では大池小学校が約2万7千円で最も高く、彩都西小学校が約1万6千円で最も低くなっています。また中学校では、北陵中学校が約1万5千円と最も高く、豊川中学校が約1万円で最も低くなっています。

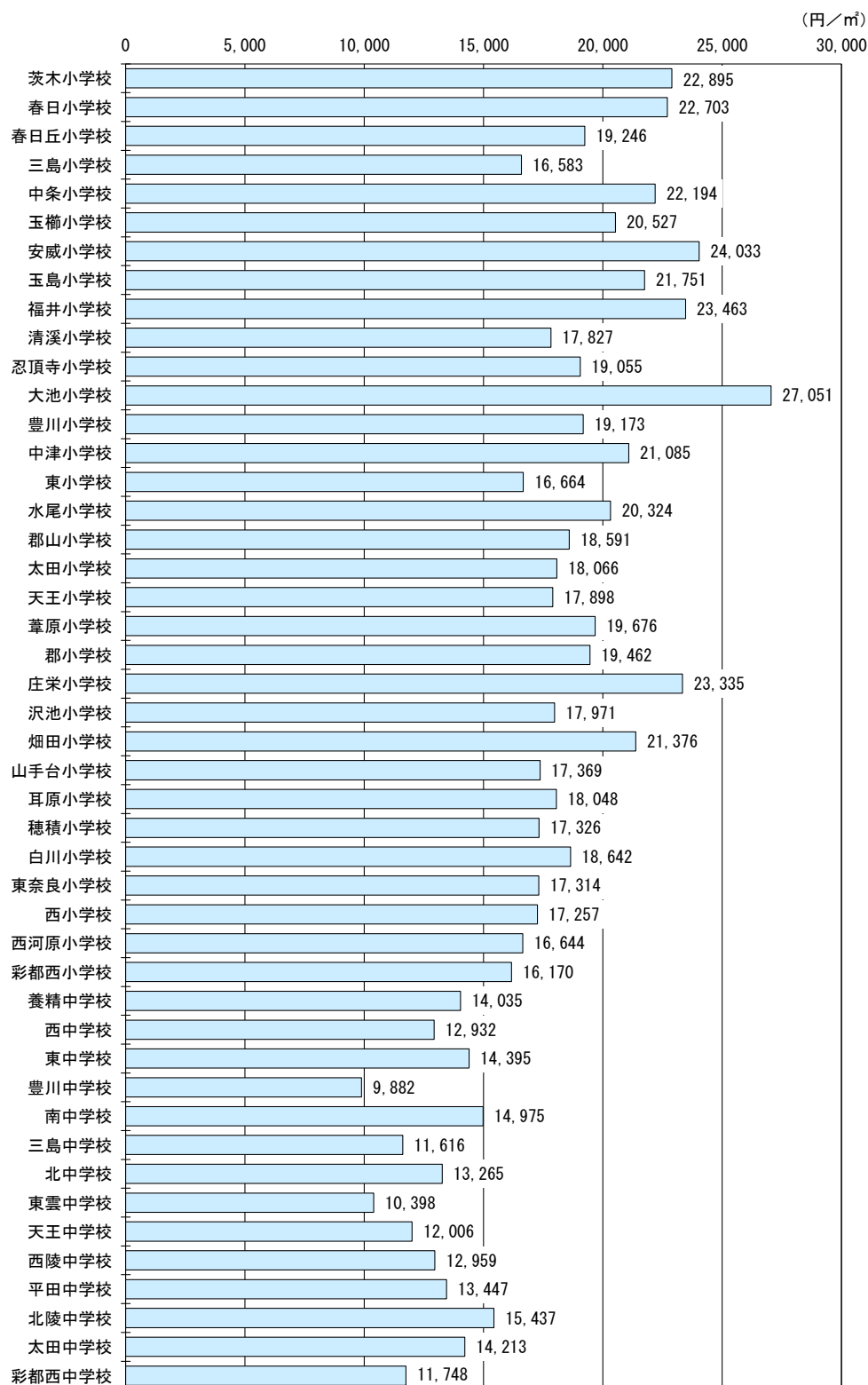


図 3-2-132 延床面積1㎡あたりの市負担コスト（令和6年度（2024年度））

一方、児童・生徒1人あたりで比較すると、総じて中学校よりも小学校のほうが高くなっています。

児童数の少ない清溪小学校、忍頂寺小学校で突出して高くなっています。

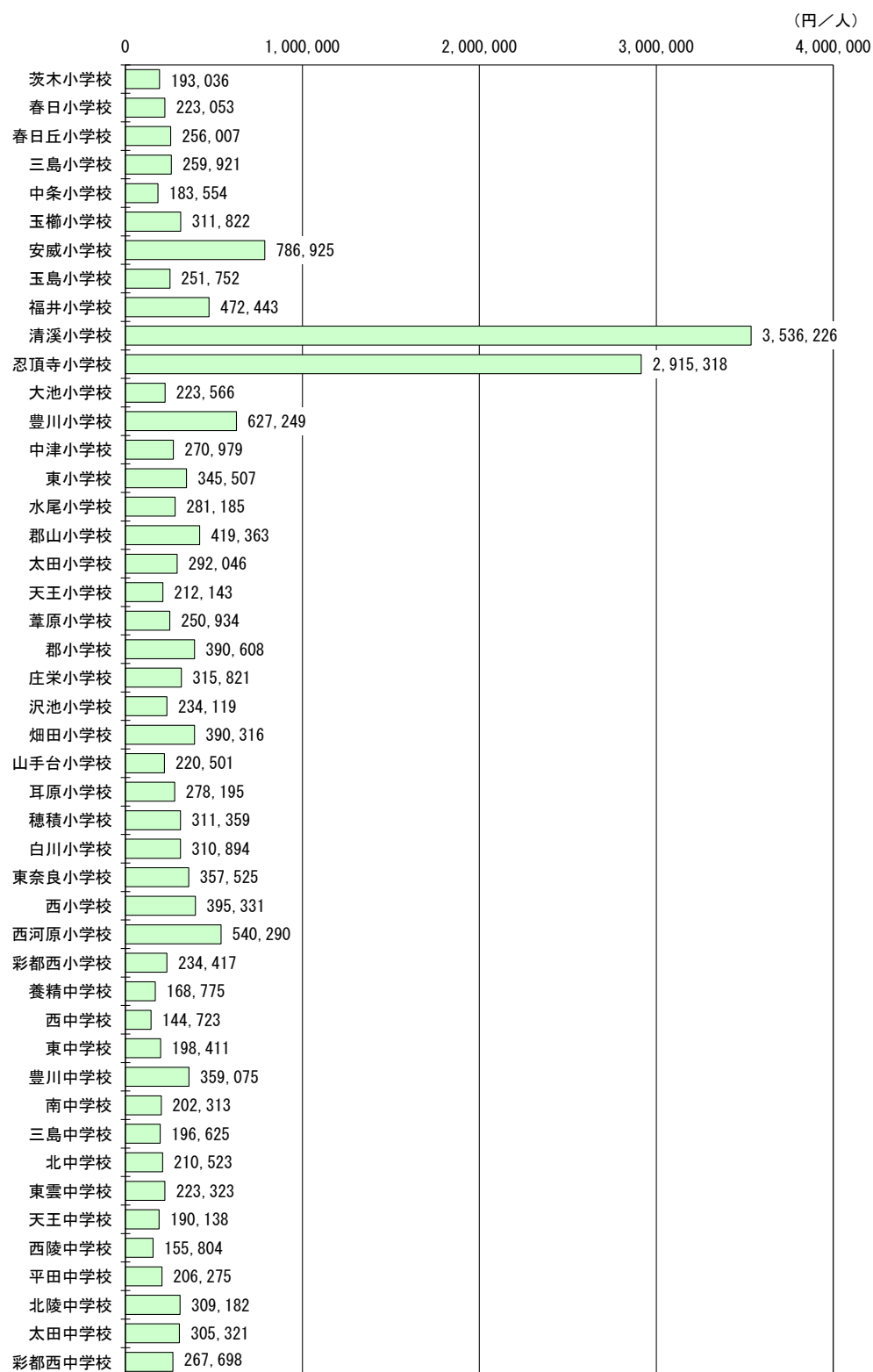


図 3-2-133 児童・生徒1人あたりの市負担コスト（令和6年度（2024年度））

⑥ 単位あたりの利用状況

延床面積千㎡あたりの児童・生徒数をみると、茨木小学校、春日小学校、中条小学校、大池小学校で100人を超えています。清溪小学校、忍頂寺小学校では、10人以下であり、学校によって差が大きくなっています。

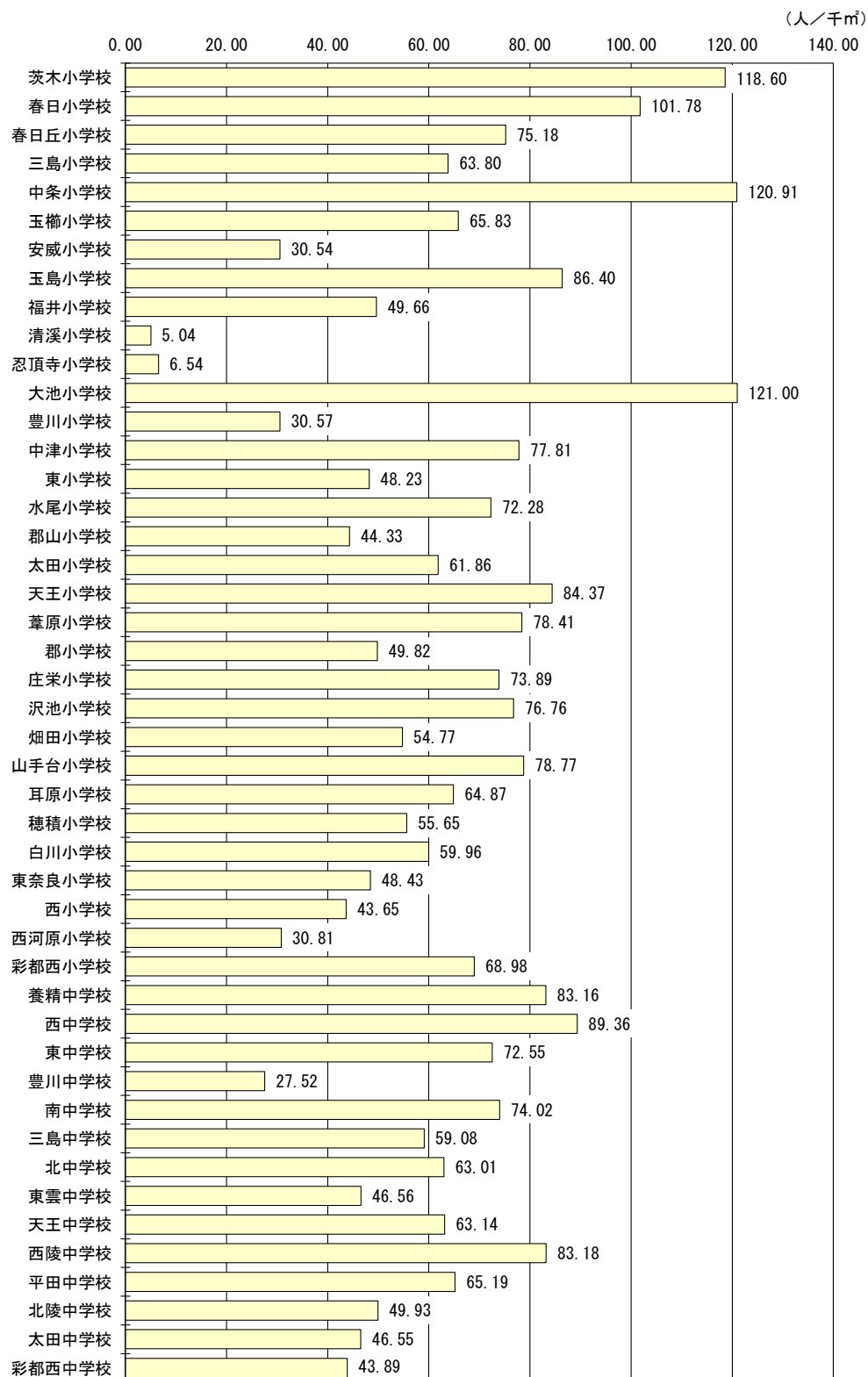


図 3-2-134 延床面積千㎡あたりの児童・生徒数（令和6年（2024年）5月1日現在）

3) その他教育施設

① 概要

本市には、幼稚園、学校以外の教育施設として、教育センターと中学校給食センターがあります。

教育センターは、市民総合センター内にあり、教育の振興を図るため、教育に関する研究、研修を行っているほか、市民を対象に、各種教育相談を行っています。

中学校給食センターは、中学校全員給食開始に伴い令和6年（2024年）に建設されました。高度な衛生管理のもと、様々な調理方法を取り入れた、安全・安心で美味しい給食を適切な温度で提供可能です。

表 3-2-23 その他教育施設の概要

No.	施設名	所在地	複合区分	運営形態	延床面積(m ²)	主要な建物の情報 (R7年末現在)			
						主な建築年	経過年数	構造・階数	耐震性
教育センター									
1	教育センター	駅前四丁目6番16号	複合	直営	1,322	H1	36	SRC・5	○
給食センター									
1	中学校給食センター	彩都はなだ一丁目3番50号	単独	その他※	5,128	R6	1	S・2	○

※PFI方式（民間の資金や経営能力・技術力を活用し、公共施設の整備等を行う手法）にて、運営。



教育センター



中学校給食センター

② 施設位置図

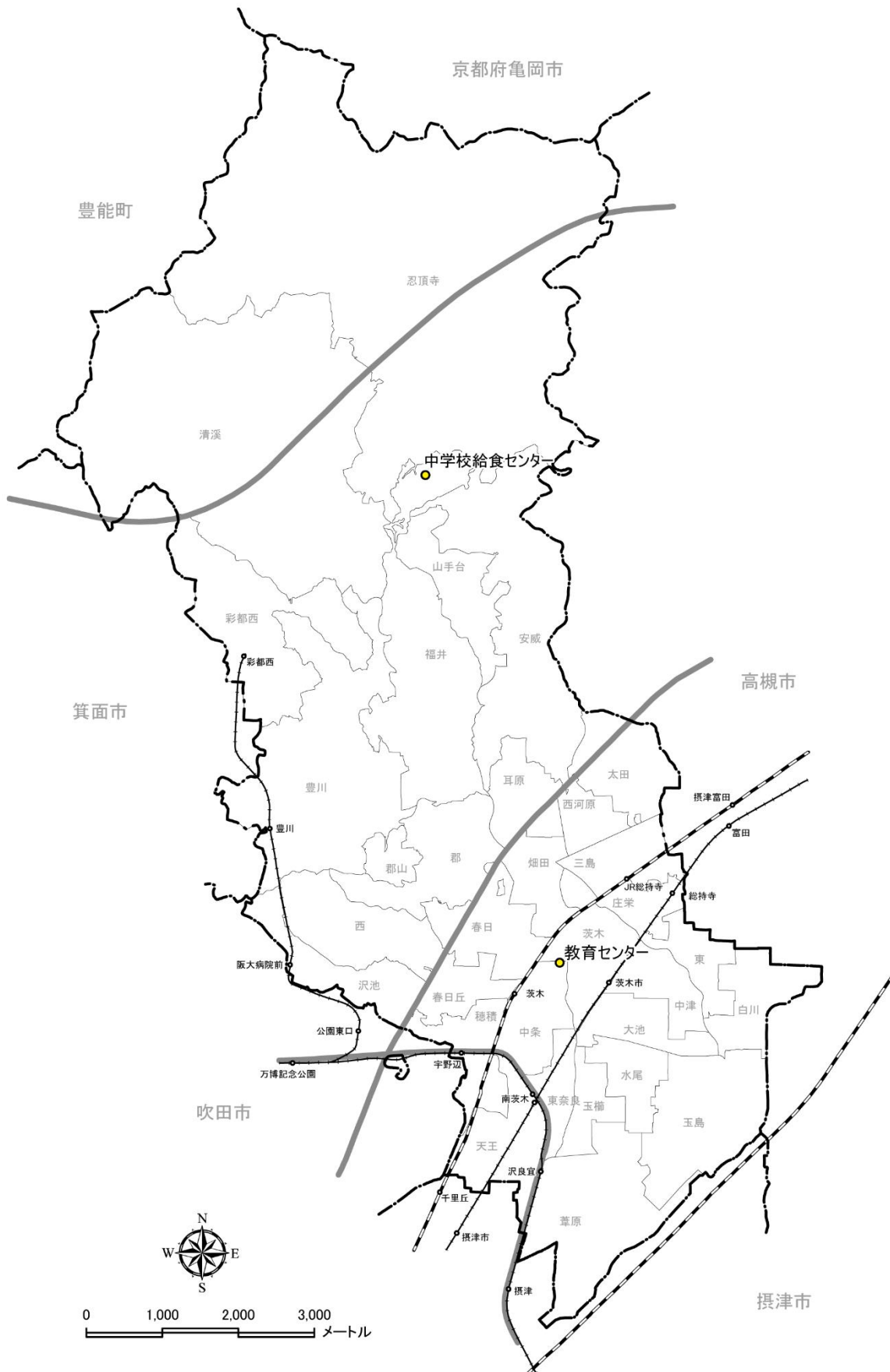


図 3-2-135 対象施設位置図（その他教育施設）

③ 施設に関する総コストの状況

令和6年度（2024年度）の施設に関する総コストをみると、教育センターで約1億7千万円となっており、人件費が過半を占めている状況です。中学校給食センターで建設費を含み約32億6千万円となっています。

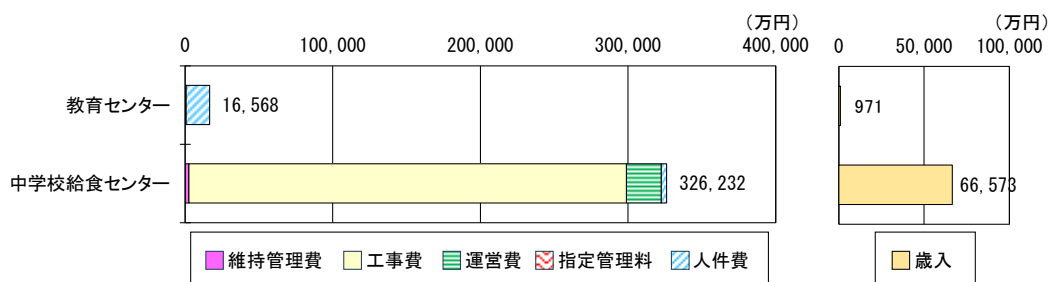


図 3-2-136 施設に関する費用と内訳（令和6年度（2024年度））

④ 単位あたりの市負担コストの状況

単位あたりの市負担コスト（工事費に係る歳入歳出を除く）について、延床面積1㎡あたりで比較すると、教育センターが約11万8千円、中学校給食センターが約5万8千円となっています。

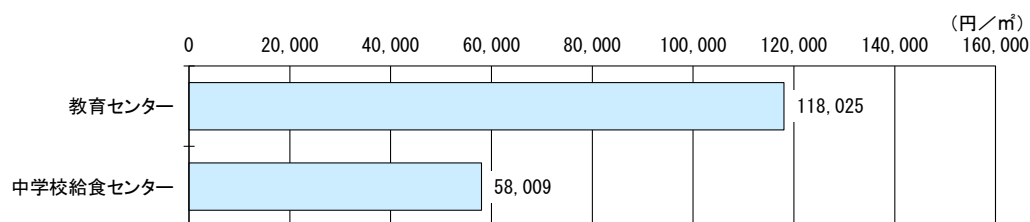


図 3-2-137 延床面積1㎡あたりの市負担コスト（令和6年度（2024年度））